

置賜定住自立圏共生ビジョン
令和 3 年度進捗状況及び成果指標等まとめ資料

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

ア 地域医療体制の充実

ビジョンの具体的な取組ごとに、令和3年度の進捗状況や、今後の方向性・成果指標の進捗を記載したものととなります。

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が安心して暮らすことができる地域医療体制の充実を図るため、病院、診療所等の関係機関の連携を図るとともに、医師、看護師等の医療従事者の確保に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 平日夜間及び休日における診療体制の充実																																									
関係市町	全市町																																									
事業内容	平日夜間及び休日における初期救急医療体制を確保するため、圏域内の3つの診療所を維持するとともに、住民に対して初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。 ・米沢市平日夜間・休日診療所：米沢市 ・南陽東置賜診療所：南陽市、高畠町、川西町（休日昼間のみ※） ・長井西置賜休日診療所：長井市、小国町、白鷹町、飯豊町（休日昼間のみ※） ※平日夜間については、置賜総合病院救命救急センターと連携を図る。																																									
期待される効果	圏域における利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。																																									
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5																																		
	平日夜間・休日診療所の運営			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																		
	普及啓発活動の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																		
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計																																				
	54,681	56,099	57,825	55,622 <u>58,939</u>	55,622 <u>55,745</u>	279,849 <u>283,289</u>																																				
活用を想定する補助制度等																																										
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市は、診療所の運営を行う。 ・高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町は、各施設の維持等に係る費用を負担する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。																																									
進捗状況	米沢市・長井市・南陽市は、3つの診療所を運営し、他市町は運営に係る費用負担、住民への周知を実施した。 ＜参考指標＞ 1. 米沢市平日夜間・休日診療所 （1）平日夜間診療受診者数（人） <table><tr><td></td><td>H30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3 年度※</td></tr><tr><td>市内受診者数</td><td>694</td><td>594</td><td>174</td><td>141</td></tr><tr><td>市外受診者数</td><td>62</td><td>46</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>合計</td><td>756</td><td>640</td><td>184</td><td>152</td></tr></table> （2）休日診療受診者数（人） <table><tr><td></td><td>H30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3 年度※</td></tr><tr><td>市内受診者数</td><td>2,482</td><td>2,669</td><td>672</td><td>707</td></tr><tr><td>市外受診者数</td><td>390</td><td>469</td><td>87</td><td>104</td></tr></table>								H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※	市内受診者数	694	594	174	141	市外受診者数	62	46	10	11	合計	756	640	184	152		H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※	市内受診者数	2,482	2,669	672	707	市外受診者数	390	469	87	104
	H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※																																						
市内受診者数	694	594	174	141																																						
市外受診者数	62	46	10	11																																						
合計	756	640	184	152																																						
	H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※																																						
市内受診者数	2,482	2,669	672	707																																						
市外受診者数	390	469	87	104																																						

	合計	2,872	3,138	759	811						
	2. 長井西置賜休日診療所受診者数（休日昼間のみ）（人）										
		H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※						
	市内受診者数	844	929	270	239						
	市外受診者数	452	557	115	110						
	合計	1,296	1,486	385	349						
	3. 南陽東置賜診療所受診者数（休日昼間のみ）（人）										
		H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※						
	市内受診者数	844	779	253	244						
	市外受診者数	629	635	152	160						
	合計	1,473	1,414	405	404						
	※令和3年度は、4月～12月（9ヶ月間の実績）										
	今後の方向性	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症流行により、平日夜間及び休日における診療者数は減少したものの、初期医療体制を提供することは重要であるため、今後も引き続き安定した運営を続けていく。 令和5年度に開院する米沢市立病院の新病院内に平日夜間・休日診療所が設置される予定であり、救急医療の集約化が進み、利便性の向上につながる事が期待される。									
成果指標	成果指標：平日夜間・休日診療所数（箇所） <table><tr><td>現状値（H29年度）</td><td>目標値（R5年度）</td><td>実績値（R3年度）</td></tr><tr><td>3</td><td>現状維持（3）</td><td>3</td></tr></table>					現状値（H29年度）	目標値（R5年度）	実績値（R3年度）	3	現状維持（3）	3
現状値（H29年度）	目標値（R5年度）	実績値（R3年度）									
3	現状維持（3）	3									

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 医療情報ネットワークの運営					
関係市町	米沢市、高畠町					
事業内容	検査結果や画像データ等、医療情報の共有を図るため、米沢市立病院を中心に、公立高畠病院等の医療機関との間で構築した医療情報ネットワークを運営する。					
期待される効果	圏域住民の身体的経済的負担の軽減及び早期診断・早期治療が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	システムの運用			⇒	⇒	⇒
	機器更新					⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	2,037	1,914	2,106	2,106	10,120	18,283
活用を想定する補助制度等	特別交付税（病診連携等）					
役割分担	・米沢市は、当該ネットワークの運用及び更新に係る費用を負担し、システムの維持を図る。 ・高畠町は、当該ネットワークを活用し、医療情報の共有を図る。					
進捗状況	米沢市立病院では、医療情報ネットワークを運営し、検査結果や画像データ等の医療情報を圏域内の医療機関と共有している。公立高畠病院では、医療情報ネットワークは活用されていない。					
今後の方向性	令和5年度にサーバー更新が見込まれており、米沢市立病院では、経費負担等について検討を進める必要がある。公立高畠病院では、医療情報ネットワーク活用の議論を進める。					

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 医療従事者確保事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の急性期医療を担う中核病院である米沢市立病院の機能を維持するため、医師や看護師等医療従事者の確保に向けた事業を行う。							
期待される効果	圏域内の医療体制が維持されることで、住民の安全・安心につながることを期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	医療従事者確保事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	医療従事者奨学資金貸付制度の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	17,280	14,680	15,880	20,760 <u>21,280</u>	22,040 <u>21,960</u>	90,640 <u>91,080</u>		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、医療従事者確保のために必要な事業を行う。 ・各市町は、医療従事者確保に向けた情報提供・情報発信を行う。							
進捗状況	米沢市では、医療従事者確保のため、大学等への情報提供や、オンライン就職説明会の開催、奨学資金貸付事業の実施等を行った。(令和3年度の貸付実績は、医学生1名、看護学生18名となっている。)各市町においても、従事者確保のため、情報発信を行っている。							
今後の方向性	引き続き、医療従事者確保に向けた取組を進める。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 病院群輪番制病院運営事業							
関係市町	全市町							
事業内容	平日夜間や休日における二次救急医療体制を確保するため、圏域の中核病院である米沢市立病院を中心に、米沢市内にある２つの民間病院と輪番で診療を行う。							
期待される効果	圏域における二次救急医療体制が確立されることで、圏域住民の安全・安心の確保が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	病院群輪番制病院運営事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	34, 952	34, 952	34, 666	34, 952 34, 594		34, 952		174, 474 174, 116
活用を想定する補助制度等	特別交付税（病診連携等）							
役割分担	・ 米沢市は、二次救急医療体制の整備のため必要な事業を行う。 ・ 各市町は、住民に対し情報提供等を行う。							
進捗状況	米沢市では、市立病院・三友堂病院・舟山病院の三病院で救急当番日を決め、休日や夜間の救急医療体制維持に努めた。							
今後の方向性	新病院開設に伴い、救急医療体制の在り方を検討していく。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	5 人工透析患者送迎事業								
関係市町	小国町								
事業内容	人工透析を必要とする住民の身体的・経済的負担を減らすため、近隣に人工透析を実施する医療機関がない場合、周辺自治体の医療機関までの送迎を行う。								
期待される効果									
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	送迎事業の実施				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計	
	23, 831	23, 875	23, 574	23,183 <u>23, 627</u>		23, 183		117, 646 <u>118, 090</u>	
活用を想定する補助制度等	過疎対策事業債								
役割分担	・小国町は、対象者に情報提供を行うとともに送迎事業を行う。								
進捗状況	小国町では、人口透析患者送迎事業を実施した。								
	＜参考指標＞								
	人口透析患者送迎事業利用人数（人）								
		H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※				
	18	18	17	16					
	※令和3年度は、4月～12月（9ヶ月間の実績）								
今後の方向性	引き続き、取組を継続していく。								

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 福祉

ア 子育て支援の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が、住み慣れた地域で、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくるため、子育て支援施設の広域利用等、支援体制の充実に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 病児保育事業（病児対応型）の実施								
関係市町	全市町								
事業内容	安心して子育てできる環境をつくるため、米沢市、長井市及び川西町の認可保育所に付設された病児保育室において、連絡票による医師の指示のもと、看護師等が一時的に保育を行う。 ・米沢市：興道南部保育園（りんごのへや）、塩井保育園（すまいる） ・長井市：はなぞの保育園（みつばちルーム） ・川西町：美女木げんき保育園（げんきルーム）								
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	事業の実施				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計			
	32, 216	33, 301	33, 301	83, 407 61, 346	43, 242 45, 171	225, 467 205, 335			
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金、過疎対策事業債								
役割分担	・米沢市、長井市及び川西町は、実施している保育所に対して補助金等を交付する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。								
進捗状況	米沢市・長井市・川西町は、病児保育事業を実施しており、いずれも置賜3市5町の住民が利用可能である。白鷹町では、令和2年度から圏域内病児保育施設の利用料助成（1/2相当額）を開始している。高畠町においては、新たに病児保育施設の設置検討を進めている。								
	＜参考指標＞								
	病児保育利用状況								
	（1）米沢市病児保育室（りんごのへや・すまいる）利用者数（人）								
		H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※				
	市内利用者数	348	332	98	179				
	市外利用者数	8	29	12	4				
	合計	356	361	110	183				
	（2）長井市病児保育室（みつばちルーム）利用者数（人）								
		H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※				
	市内利用者数	249	239	94	146				
	市外利用者数	22	14	20	48				
	合計	271	253	114	194				

	(3) 川西町病児保育室（げんきルーム）利用者数（人）				
		H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※
	市内利用者数	区分把握 なし	区分把握 なし	区分把握 なし	区分把握 なし
	市外利用者数				
	合計	244	208	106	146
※令和3年度は、4月～12月（9ヶ月間の実績）					
今後の方向性	病児保育施設の広域利用の取組を継続するとともに、情報発信に努める。また、高島町では、令和4年度中の新たな病児保育施設オープンに向け、実施設計及び整備工事に着手する。				
成果指標	成果指標：病児保育事業実施施設数（箇所）				
	現状値（H29 年度）	目標値（R5 年度）	実績値（R3 年度）		
	4	現状維持（4）	4		

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 一時預かり事業の広域的利用							
関係市町	全市町							
事業内容	安心して子育てできる環境をつくるため、米沢市、長井市、南陽市、 <u>高畠町</u> 、川西町及び白鷹町の認可保育所等において、家庭で保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を預かり、必要な保育を行う。 ・米沢市：明星保育園、興道北部保育園、そらいろ保育園 ・長井市：おひさま保育園、ベビーホーム杏 ・南陽市：赤湯乳幼児保育センター、赤湯ふたば保育園、 <u>宮内双葉保育園</u> ・ <u>高畠町：つくし保育園、やしろ保育園、たかはたこども園、まつかわ幼稚園、なごみこども園、なかよしこども園、にじいろこども園、あいいく幼児園</u> ・川西町：子育て支援センター「こあら」、小松保育所 ・白鷹町：愛真こども園、よつばこども園、さくらの保育園、ひがしね保育園							
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	一時預かり事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	29,790	31,633	34,868	36,054 38,726	43,266 38,726		175,611 173,743	
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金							
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市、 <u>高畠町</u> 、川西町及び白鷹町は、実施している保育所等に対して補助金等を交付する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。							
進捗状況	米沢市・長井市・南陽市・高畠町・川西町・白鷹町では一時預かり事業を実施している。米沢市の一時預かり事業は、市内住民限定となっている。							
今後の方向性	各市町での一時預かり事業を実施するとともに、広域利用を推進する。なお、米沢市では、保育士不足で待機児童が発生しており、広域利用を受け付けていないことから、保育士不足解消に向けて取組を進める。							

成果指標	成果指標：一時預かり事業実施施設数（箇所）		
	現状値（H29 年度）	目標値（R5 年度）	実績値（R3 年度）
	14	現状維持（14）	22

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 児童遊園施設等の広域利用																																												
関係市町	全市町																																												
事業内容	圏域内における児童遊園施設や公園等、児童が遊べる施設の広域利用を図るため、施設の適切な維持管理を行うとともに、情報発信を行う。 ・米沢市：成島わくわくランド、大森山森林公園、児童会館 ・長井市：（仮称）子育て世代活動支援センター ・南陽市：中央花公園 ・高畠町：屋内遊戯場 <u>もっくる</u> ・川西町：犬川河川公園、駅東地区広場等 ・白鷹町：にこぽーと（子育て支援センター）																																												
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。																																												
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5																																					
	施設の維持管理			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																					
	広域利用の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																																					
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5		合計																																						
	53, 821	55, 625	55, 612	56, 225 <u>49, 641</u>	55, 625 <u>45, 246</u>		276, 908 <u>259, 945</u>																																						
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金																																												
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町及び白鷹町は、当該施設の適正な維持管理を行う。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。																																												
進捗状況	いずれの市町においても、児童遊園施設や公園等において、市町外からの広域利用を可能としている。令和元年7月には、新たに高畠町において屋内遊戯施設「もっくる」が開館した。 ＜参考指標＞ 児童遊園施設利用状況 （1）成島わくわくランド公園（米沢市）利用者数（人） <table><tr><td>H30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3 年度※</td></tr><tr><td>41, 732</td><td>37, 650</td><td>27, 415</td><td>35, 831</td></tr></table> （2）大森山森林公園（米沢市）利用者数・・・把握なし （3）児童会館（米沢市）利用者数（人） <table><tr><td>区分</td><td>H30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3 年度※</td></tr><tr><td>幼児</td><td>20, 416</td><td>16, 247</td><td>11, 584</td><td>9, 758</td></tr><tr><td>小学生</td><td>21, 896</td><td>19, 717</td><td>11, 533</td><td>14, 112</td></tr><tr><td>中学生</td><td>3, 286</td><td>3, 491</td><td>1, 959</td><td>3, 083</td></tr><tr><td>一般</td><td>24, 958</td><td>21, 826</td><td>17, 633</td><td>18, 297</td></tr><tr><td>合計</td><td>70, 556</td><td>61, 281</td><td>42, 709</td><td>45, 250</td></tr></table>							H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※	41, 732	37, 650	27, 415	35, 831	区分	H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※	幼児	20, 416	16, 247	11, 584	9, 758	小学生	21, 896	19, 717	11, 533	14, 112	中学生	3, 286	3, 491	1, 959	3, 083	一般	24, 958	21, 826	17, 633	18, 297	合計	70, 556	61, 281	42, 709	45, 250
	H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※																																									
	41, 732	37, 650	27, 415	35, 831																																									
	区分	H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3 年度※																																								
	幼児	20, 416	16, 247	11, 584	9, 758																																								
	小学生	21, 896	19, 717	11, 533	14, 112																																								
	中学生	3, 286	3, 491	1, 959	3, 083																																								
	一般	24, 958	21, 826	17, 633	18, 297																																								
	合計	70, 556	61, 281	42, 709	45, 250																																								

	(4) 中央花公園（南陽市）利用者数（人）				
	H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※	
	44,917	34,649	27,486	30,691	
	(5) 屋内遊戯場もっくる（高島町）利用者数（人）				
	令和元年7月26日開館				
	区分	H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※
	幼児	－	26,167	10,926	11,575
	小学生	－	5,132	1,133	1,405
	一般	－	29,971	11,733	12,275
	合計	－	61,270	23,792	25,255
	(6) 犬川河川公園（川西町）利用者数・・把握なし				
	(7) 駅東地区広場（川西町）利用者数・・把握なし				
(8) にこぽーと（子育て支援センター）（白鷹町）利用者数（人）					
H30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度※		
8,530	7,221	6,297	4,832		
※令和3年度は、4月～12月（9ヶ月間の実績）					
今後の方向性	各児童遊園施設や公園等の広域利用促進に努めるとともに、情報発信に努める。 また、長井市では、子育て世代活動支援センターと、多機能型図書館を併設する 公共複合施設（（仮称）長井市遊びと学びの交流施設）を令和5年度中に開設する 予定としている。				

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 指定児童発達支援事業所の広域利用								
関係市町	全市町								
事業内容	障がい児の発達を支援するため、指定児童発達支援事業所を運営するとともに広域利用を推進する。 ・米沢市：ひまわり学園 ・長井市：すみれ学園								
期待される効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	広域利用の実施				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計			
	46,509	42,815	50,379	46,128 <u>58,925</u>	46,509 <u>59,217</u>	232,340 <u>257,845</u>			
活用を想定する補助制度等									
役割分担	・米沢市及び長井市は、当該事業所の運営を行う。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。								
進捗状況	令和3年度より、ひまわり学園が、新たに児童発達支援センターとなり、地域の障がい児支援の強化が図られた。ひまわり学園の児童発達支援事業の令和3年度利用実績は、16名であるが、市外からの利用はなし。各市町においては、住民に対する周知を行い、利用促進に努めている。								

今後の方向性	新たに、ひまわり学園が児童発達支援センターとなったことにより、広域利用のニーズが高まると考えられることから、より積極的な周知に努める。またすみれ学園については、施設の老朽化への対応について検討を進める。
--------	---

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

イ 福祉・健康事業の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が安心して健康的に暮らすことができる地域づくりを進めるため、住民の福祉及び健康に関する事業の充実に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 —(仮称)— 置賜成年後見センターの <u>設立検討運営</u>							
関係市町	全市町							
事業内容	平成 28 年 5 月に施行された「成年後見制度の利用の促進に関する法律」における権利擁護支援の中核的な役割（※）を担うため、 3 市 5 町での「(仮称) 置賜成年後見センター」の設立に向けて検討を行う。 <u>令和 4 年 4 月から「置賜成年後見センター」を置賜 3 市 5 町で設置し、運営を行う。</u> ※中核的な役割：認知症や障がい等の理由で判断能力の不十分な方々に対し財産管理や介護などのサービス契約について支援する「成年後見制度」を活用しやすいように、相談を受けたり、関係機関と連携を図ったりすること、等。							
期待される効果	<u>置賜成年後見センターの設置により</u> <u>中核機関の設立により</u> 、専門職による専門的助言等の支援の確保や、協議会の事務局運営など、地域連携ネットワークのコーディネートを担うことが可能となり、成年後見制度の利用促進が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	設立に向けた検討			⇒	⇒	⇒		
	—(仮称) 置賜成年後見センター設立・運営 <u>置賜成年後見センターの運営</u>						⇒	⇒
	外部人材活用			⇒	⇒	⇒		
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	1, 308	1, 634	367	23, 421 <u>23, 396</u>	23, 421 <u>23, 396</u>	50, 151 <u>50, 101</u>		
活用を想定する補助制度等	特別交付税（外部人材活用） <u>生活困窮者就労準備支援事業費等補助金</u>							
役割分担	・米沢市は、設立の検討に向けた検討会を開催する。 ・各市町は、米沢市と連携し、検討を行う。 <u>・米沢市は、置賜成年後見センター運営協議会の事務局として庶務を行う。</u> <u>・各市町は、置賜成年後見センター運営協議会を設置し、置賜成年後見センターの事業を米沢市社会福祉協議会に委託する。</u> <u>・各市町は、運営負担金を分担し、置賜成年後見センターと連携することで、成年後見制度の利用促進を図る。</u>							
進捗状況	地域の権利擁護支援の中核的な役割を担う置賜成年後見センターについて、3 市 5 町で共同設置することに向けて協議検討を重ね、計画通り令和 4 年 4 月から設置、事業開始できるように準備を進めることが出来た。							
今後の方向性	令和 4 年 4 月の事業開始後も、継続して安定的に運営することで、成年後見制度の利用促進と地域の権利擁護支援の体制整備を図る。また、各市町は事務局である米沢市と連携を行う。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 自殺対策における普及啓発活動の推進							
関係市町	全市町							
事業内容	自殺対策を強化するため、自殺に関する現状や課題、対策に取り組む意義について関係者と認識を共有できる広域担当者連絡会議を開催する。また、圏域内にある専門病院、専門家等の人材を活用した講演会を開催し、住民への普及啓発に努める。							
期待される効果	自殺の現状と対策の必要性、支援体制に関する情報の提供など、これまで以上に主体的な対策が検討されることが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	連絡会議や講演会等の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	199	692	709	903 590		903 736		3,406 2,926
活用を想定する補助制度等	山形県地域自殺対策強化交付金							
役割分担	・米沢市は、研修会や各関係機関の連携による自殺防止対策等の企画運営についての事務局を担う。 ・各市町は、専門機関、専門家等の研修の講師となる人材の選定や研修会受講対象者への連絡調整を行うとともに自殺予防について周知を行う。							
進捗状況	自殺対策計画については、令和元年度中に置賜3市5町全てにおいて策定を完了した。令和3年度は、オンラインにて自殺対策研修会及び圏域自殺対策担当者会議を開催し、情報交換を行った。							
今後の方向性	圏域内での自殺対策研修会及び圏域自殺対策担当者会議について、来年度も継続して行い、自殺対策の普及啓発に努めるとともに、圏域市町担当者間での情報交換や、ネットワーク構築に努める。令和4年度には、圏域内でアウェアネスリボン（気づきのリボン）を使った普及啓発活動を行う。							
成果指標	成果指標：自殺対策計画策定市町数							
	現状値（H29 年度）		目標値（R1 年度）		実績値（R1 年度）			
	0		8		8（達成済）			

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 養護老人ホームの整備							
関係市町	全市町							
事業内容	置賜広域行政事務組合が運営する養護老人ホーム「南陽やすらぎ荘」の老朽化等に対応するため、養護老人ホームを新たに整備する。 また、西置賜行政組合が運営する養護老人ホーム「おいたま荘」の老朽化等による機能低下を防止するため、適切な改修を行う。							
期待される効果	環境上・経済上の理由により在宅での生活が難しい住民の養護を行うことで、住民の安全・安心につながることを期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	南陽やすらぎ荘の整備			⇒	⇒	⇒	⇒	
	おいたま荘の施設改修			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	129, 312	40, 949	1, 340, 237	199, 033 <u>233, 801</u>	2, 798 <u>2, 466</u>		1, 712, 329 <u>1, 746, 765</u>	
活用を想定する補助制度等	地域活性化事業債、過疎対策事業債							

役割分担	・置賜広域行政事務組合は、南陽やすらぎ荘の整備を行う。 ・米沢市、南陽市、高畠町、川西町は、南陽やすらぎ荘の整備に必要な費用負担を行う。 ・西置賜行政組合は、おいたま荘の改修を行う。 ・長井市、小国町、白鷹町、飯豊町は、おいたま荘の改修に必要な費用負担を行う。
進捗状況	養護老人ホーム南陽やすらぎ荘の建設工事は、計画の工程どおり進捗しており、令和4年2月末に新施設（本体棟）の完成を予定しており、おいたま荘については、改修計画に基づき改修工事を進めている。いずれの施設整備及び改修費用についても、各市町で費用負担を行っている。
今後の方向性	南陽やすらぎ荘について、令和4年度は、現施設解体及び駐車場等の環境整備を行う。また、おいたま荘についても、老朽化等による機能低下を防ぐ目的とともに、入所者の生活機能維持向上に向けて改修工事を進める。各市町は、今後も費用負担を行う。

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 教育

ア 教育環境・生涯学習の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	学校教育及び住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、学校等の支援を行うとともに、各市町で開催する各種講座、講演会等の参加対象を圏域内住民に拡大し、及び公共施設の相互利用等を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 白鷹高等専修学校教育充実支援事業							
関係市町	全市町							
事業内容	白鷹高等専修学校は、県内でも数少ない高等課程を有する専修学校だが、私立高等学校と同程度の支援がない状況にある。同校に通学する生徒の教育環境の充実と将来を担う人材を育成するため、財政的支援を行う。							
期待される効果	服飾・縫製関係で高い技術力を身につけ活躍できる人材の育成のほか、障がいや身体的・精神的問題を抱えている生徒への教育や、学びなおし・自立のための場としての活用が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	白鷹高等専修学校への支援			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	2, 450	2, 450	2, 390	2, 390 <u>2, 360</u>	2, 390 <u>2, 360</u>	12, 070 <u>12, 010</u>		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	各市町は、教員確保のための費用及び教育活動の情報発信等に係る費用について支援する。 平等割・国勢調査人口割・基準財政需要学割（各 10%）、生徒数割（70%）							
進捗状況	各市町の支援により、教員確保による複式学級解消、身体的・精神的問題を抱えた特別な配慮が必要な生徒に対応するための教員の配置、教育活動の情報発信等が図られた。（令和 3 年度生徒数：26 名、置賜一円から通学している。）							
今後の方向性	各市町は、財政的支援を継続して行う。現在の予算規模では、施設の老朽化対応等を行えない状況であり、今後も県に対し、私学補助の拡充を引き続き要望していく。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 各種講座、企画展等の実施							
関係市町	全市町							
事業内容	各市町で開催する各種講座、企画展等の情報共有を図り、参加の促進を図る。							
期待される効果	圏域内における社会教育の振興や交流人口の増大が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	各種講座、企画展等の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	0	0	0	0		0		0
活用を想定す								

補助制度等	
役割分担	・各市町は、各種講座、企画展等を実施するとともに相互に情報交換を行い、住民に周知する。
進捗状況	各市町では、各種講座、企画展等に係る情報を置賜全域に広く周知し、圏域内からの参加促進を図っている。
今後の方向性	圏域内の住民が広く参加することで、交流の促進や効果増大につながっているため、今後も継続していく。各種講座等の情報を共有する効果的な手法について、検討を進める。

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 圏域内図書館の連携							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の住民の利便性を高めるため、各市町の図書館間の相互貸借を継続するとともに、読育推進、読み聞かせ等の活動についての情報交換や、地域への図書サービスの提供及び図書館活動の振興に寄与することを目的とした置賜地区公共図書館（室）連絡協議会を運営する。							
期待される効果	圏域住民における読書の機会提供への寄与が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	相互貸借の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	協議会の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4		R5		合計
	0	0	0	0		0		0
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、協議会の事務局運営を行う。 ・各市町は、協議会活動への参画を行う。 ・図書の相互貸借に要する費用は、各市町が負担する。							
進捗状況	置賜地区図書館連絡協議会、研修会を実施し、各市町間の情報交換や、地域への図書サービス提供及び図書館活動の振興に努めた。また、各市町の図書館間の相互貸借を実施している。							
今後の方向性	今後も、置賜地区図書館連絡協議会や研修会を実施し、各館の取組の情報交換を行うとともに、サービスの連携について検討を進める。図書館間の相互貸貸についても継続して実施する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

④ 産業振興

ア 農畜産物等の振興

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内で生産される安全で安心な農畜産物の振興を図るため、農畜産物及びその加工品についての生産振興及び情報発信等を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 置賜地域特産農産物等消費流通拡大事業								
関係市町	全市町								
事業内容	置賜地域の農畜産物、加工品、地域の食に関する産業振興のため、各市町の特色を活かした事業を実施するとともに、置賜農業振興協議会を中心とした広域的なPRイベントを行う。								
期待される効果	広域的な販路の確保やPR効果の増大のほか、生産者と消費者をつなぐ場の確保が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	協議会事業の実施				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	各市町事業の実施				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計			
	25, 017	18, 153	16, 836	17, 736 5, 301	17, 736 17, 744	95, 478 83, 051			
活用を想定する補助制度等	地方創生推進交付金								
役割分担	・各市町は、置賜農業振興協議会の費用負担を行い、関係機関とともに広域的事業等を行う。 ・県は、置賜農業振興協議会の事務局を担い、各市町と連携し、広域的事業の検討及び実施を行う。								
進捗状況	各市町は、置賜農業振興協議会が主催する各種イベントへ参画し、置賜地域一体で広域的なPR活動を実施した。初の試みとして、ライブコマースを活用し、オンライン形式で置賜産農畜産物や加工品等のPR販売を行った。								
今後の方向性	取組を継続し、置賜地域特産農産物の地産地消を一層推進するとともに、観光キャンペーンと連動した置賜産食材の魅力発信などにより、消費拡大を図る。								

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討					
関係市町	全市町					
事業内容	農作物被害の原因となっている大型獣の生息数を効率的に減少させるため、射撃技術向上に資する施設を整備する。 <u>さらに、有害鳥獣の捕獲頭数が増加していることから、有害鳥獣の広域処理施設について検討を進める。</u> また、捕獲技術者の高齢化等による人材不足に係る課題を解決するため、広域的対応を検討するとともに、担い手を確保するため、狩猟免許の取得・更新や有害捕獲活動への補助を行う。					
期待される効果	有害鳥獣対策における、人員不足に係る課題の解決が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	射撃場の整備	⇒				
	各種補助の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

	広域的対応の検討				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5		合計		
	13, 560	3, 047	4, 010	3, 660 <u>4, 370</u>	3, 660 <u>4, 337</u>		27, 937 <u>29, 324</u>		
活用を想定する補助制度等	鳥獣被害防止総合対策交付金								
役割分担	・米沢市は会議の場を設定し、各市町とともに有害鳥獣対策の広域的対応の検討を行う。 ・<u>各市町は、有害鳥獣対策の広域的対応の検討を行うとともに、有害鳥獣駆除の担い手確保のための事業を行う。</u> ・<u>各市町は、置賜広域行政事務組合有害鳥獣等の処理に関する検討委員会で、有害鳥獣の広域処理施設について検討を行う。</u> ・南陽市及び高島町は、猟友会等とともに、射撃場の整備を行う。 ・各市町は、担い手確保のための事業を行う。								
進捗状況	各市町では、狩猟免許取得に係る支援事業等を実施した。また、有害鳥獣数増加に伴い、有害鳥獣の広域処理施設の必要性が高まっていることから、置賜広域行政事務組合において、「置賜広域行政事務組合有害鳥獣等の処理に係る検討委員会」を令和4年2月1日付けで設置した。								
今後の方向性	引き続き、狩猟免許取得に係る支援事業を実施するとともに、猟友会協力のもと、新規の担い手の現場訓練の機会を設け、持続的な捕獲体制を構築する。また、広域処理施設整備については、処理方式や、施設規模、設置場所、各市町負担割合等の検討を進めていく。								

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

イ 米沢牛の振興

【形成協定の内容】

取組の内容	地理的表示（G I）保護制度に登録された米沢牛の振興を図るため、増頭その他の生産基盤の強化に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 米沢牛生産基盤強化事業							
関係市町	全市町							
事業内容	米沢牛の生産基盤を強化するため、各市町の特色を活かした繁殖・肥育センターを整備し、広域利用を推進することで「置賜生まれ置賜育ちの米沢牛」の生産を図る。							
期待される効果	米沢牛の生産基盤を強化することで、高付加価値化、生産者労力の軽減、生産コストの低減などが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	畜舎整備（米沢市）			⇒		⇒	⇒	⇒
	畜舎整備（川西町）						⇒	⇒
	畜舎整備（飯豊町）			⇒	⇒	⇒		
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	186, 960	120, 106	35, 000	55, 000 35, 000	370, 000 240, 000	767, 066 617, 066		
活用を想定する補助制度等	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業、山形県畜産経営競争力強化支援事業、 <u>山形県畜産所得向上強化支援事業</u> 、地域活性化事業債							
役割分担	・ 畜舎整備を行う市町等は、当該施設の整備及び管理運営を行う。 ・ 各市町は、肥育農家等に対して周知を行う。							

進捗状況	米沢市と川西町の畜舎整備については、資機材の高騰により実施時期を見直すこととなった。飯豊町の畜舎整備については、町内小白川地区において、国の事業を活用し、畜舎2棟、飼料庫1棟、堆肥舎2棟の整備を完了した。また、各市町は、肥育農家等に対して、米沢牛の生産基盤強化を補助対象とする補助制度の情報提供を行っている。			
今後の方向性	米沢市と川西町の畜舎整備については、新たな整備スケジュールを検討していく。また、各市町において、引き続き国や県の補助事業を活用した生産基盤強化に向けた取組を進める。			
成果指標	成果指標：繁殖雌牛の頭数（頭）			
	現状値（H29年度）	目標値（R5年度）		
	2,002	2,800		
	実績値（H30年度）	実績値（R1年度）	実績値（R2年度）	実績値（R3年度）※
	2,399	2,316	2,451	2,477
※令和3年度は、令和3年12月末時点での実績				

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 自給飼料の確保及び放牧場の広域利用							
関係市町	全市町							
事業内容	自給飼料の確保によるコスト削減や国内飼料給与による他産地との差別化を図るため、子実トウモロコシ及び飼料用イネ（WCS）の栽培実証・試験給与や飼料用米利用拡大等を行うとともに、飼料生産組織の設立を目指す。 また、圏域内における放牧場の整備を行い、広域利用を行う。 ・米沢市：吾妻山ろく放牧場 ・川西町：玉庭放牧場							
期待される効果	自給飼料確保による自給飼料率向上及びコスト削減、国内飼料給与による他産地との差別化、飼料生産組織の設立による雇用創出、稲に代わる作物栽培による農地維持・保全のほか、繁殖牛の増頭・繁殖農家の労働力軽減が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	実証栽培・給与検証			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	飼料生産組織設立							⇒
	放牧場の広域利用（草地更新、施設管理）			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	20, 122	23, 797	28, 273	71, 000 33, 425	21, 800	164, 992 127, 417		
活用を想定する補助制度等	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業、国産飼料増産対策事業							
役割分担	・各市町は、県や関係機関と連携し、飼料の栽培に向けた取組や産地交付金の拡充を行う。 ・米沢市、川西町は、放牧場の維持管理を行う。 ・各市町は、放牧場の広域利用に向けた情報発信等を行う。							
進捗状況	一部市町では、子実トウモロコシの実証栽培や、飼料用イネ（WCS）のドローン直播による低コスト栽培の実証実験を行った。また、放牧場については、円滑な放牧業務のための環境整備に努めた。							

今後の方向性	引き続き、子実用トウモロコシや、飼料用イネ（WCS）ドローン直播による低コスト栽培の普及を促進するとともに、放牧場の維持管理に努める。また、令和4年度より水田活用の直接支払交付金の支援内容見直しにより、牧草や飼料用米に対する支援額が減額されることとなったため、制度変更に向け置賜総合開発協議会等で要望を行う。			
成果指標	成果指標：飼料作物作付面積（ha）			
	現状値（H29年度）	目標値（R5年度）		
	1,913.4	2,100		
	実績値（H30年度）	実績値（R1年度）	実績値（R2年度）	実績値（R3年度）※
	1,827.7	1,906.2	1,898.8	2,072.1
※令和3年度は、令和3年12月末時点での実績				

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 先進的取組の推進							
関係市町	全市町							
事業内容	優秀な和牛生産に向け、現有の優秀個体の種雄牛及び未經産牛のゲノミック評価を実施し、米沢牛銘柄の確立と優秀個体の安定生産を図る。また、各市町は、繁殖雌牛増頭のため、山形おきたま農業協同組合や山形県酪農業協同組合と連携し、ET（受精卵移植）の積極的な活用を促すための助成を行う。							
期待される効果	高品質な「置賜生まれ置賜育ちの米沢牛」の生産拡大及び繁殖雌牛の増頭が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	各種調整・協議			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業実施				⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	2, 350	2, 175	2, 300	4, 875 <u>2, 125</u>	3, 250 <u>2, 950</u>	14, 950 <u>11, 900</u>		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、先進的取組の推進に向けた研究会を開催し、各種調整・協議を行う。 ・各市町は、各関係機関や農家との調整を行い、事業の実施に向けた検討及び助成を行う。							
進捗状況	飯豊町では、受精卵移植への補助を令和2年度まで実施した。受精卵移植等の先端的取組については、生産者・関係機関の協力が不可欠であり、多くの市町において実施に至っていない。							
今後の方向性	今後も、米沢牛WGや研修会の実施を行うとともに、生産者や関係機関との意見交換を実施しながら、事業実施に向けた検討を行う。							
成果指標	成果指標：受精卵移植頭数（受精卵を移植した親牛頭数）（頭）							
	現状値（H29年度）		目標値（R5年度）					
	71		260					
	実績値（H30年度）		実績値（R1年度）		実績値（R2年度）		実績値（R3年度）※	
	76		73		114		100	
※令和3年度は、令和3年12月末時点での実績								

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 米沢市食肉センターの管理運営							
関係市町	全市町							
事業内容	米沢牛の適切な流通を確保するため、置賜地域の畜産物流通をけん引するとともに米沢牛の流通拠点として重要な役割を担う「米沢市食肉センター」の維持を行う。							
期待される効果	高度な衛生管理に基づく食肉流通の実現、米沢牛の流通の拡大への寄与が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	食肉センターの管理運営			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	114, 788	142, 173	143, 021	130, 000	130, 000	659, 982		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・ 米沢市は、当該施設の管理運営を担う。 ・ 各市町は、各事業者の利用促進を図る。							
進捗状況	米沢市では、食肉センターの施設及び機械の修繕を優先度に応じて実施した。また、各市町では、生産者支援・利用促進を図っている。							
今後の方向性	食肉センターは稼働から 20 年以上が経過しているため、毎年多額の修繕費用が発生している。米沢市では、今後も食肉センターの施設能力を発揮できるよう維持管理に努める。							
成果指標	成果指標：と畜頭数（頭）							
	現状値（H29 年度）		目標値（R5 年度）					
	3, 282		3, 450					
	実績値（H30 年度）		実績値（R1 年度）		実績値（R2 年度）		実績値（R3 年度）※	
	3, 375		3, 453		3, 232		2, 639	
※令和 3 年度は、令和 3 年 1 2 月末時点での実績								

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	5 米沢牛のブランド向上に向けての P R 推進							
関係市町	全市町							
事業内容	地理的表示（G I）保護制度に登録された米沢牛の販路を拡大するため、米沢牛銘柄推進協議会と連携した国内外への P R 活動を推進する。また、各市町が実施する米沢牛 P R イベントの継続及び連携を図るとともに新規事業の検討を行う。							
期待される効果	ブランド牛としての P R 効果増大や販路拡大、他ブランド牛との差別化などが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	P R ・ 販路拡大事業			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	4, 807	5, 400	5, 400	5, 500 5, 401	5, 500 5, 503	26, 607 26, 511		
活用を想定す								

補助制度等	
役割分担	・各市町は、米沢牛銘柄推進協議会及び関係機関と連携した広域的なPRイベントを検討・実施するとともに、それぞれの特色を活かしたイベントを開催する。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症により各種イベントが実施できない状況の中、各市町では、ドライブスルー方式等を採用した米沢牛の販売イベントなど、工夫をしながら米沢牛のPR及び消費拡大を推進した。
今後の方向性	引き続き、米沢牛銘柄推進協議会とも連携しながら、米沢牛のPR及び消費拡大を推進する。また、令和5年中に米沢牛の定義が現行の32か月齢から33か月齢に変更されることから、一層のブランド力向上に向けてPRを進めていく。

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	6 米沢牛生産者への支援事業							
関係市町	米沢市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、飯豊町							
事業内容	地理的表示（G I）保護制度への登録を契機とする需要増加に対応するため、増頭体制の確立及び肥育農家等の経営安定のため、市・町有牛の貸付等を行う。							
期待される効果	米沢牛の増頭、肥育農家等の経営安定が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	市・町有牛の貸付…①			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	肥育素牛導入補助…②			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	① 225, 109	224, 102	226, 844	224, 102 220, 792	224, 102 224, 402	※ 226, 844 ※ 224, 402		
	② 4, 000	4, 000	4, 000	4, 000	4, 000	20, 000		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市、南陽市、高畠町、川西町、小国町及び飯豊町は、関係団体と連携し、米沢牛生産者への支援事業を行う。							
進捗状況	各市町では、牛貸付、肥育素牛導入について支援を実施した。また、一部市町において、肥育素牛導入資金の償還猶予や肉用牛経営肥育経営緊急支援事業により肉牛生産者の生産費の一部補填を図るなど、生産者の経営支援を図った。							
今後の方向性	引き続き、牛貸付、肥育素牛導入についての支援を行っていく。また、各市町の事業内容を共有しながら、置賜全体としてより効果的な取組を実施できるよう検討を進めていく。							
成果指標	成果指標：貸付牛頭数（頭）							
	現状値（H29 年度）		目標値（R5 年度）					
	353		420					
	実績値（H30 年度）		実績値（R1 年度）		実績値（R2 年度）		実績値（R3 年度）※	
	300		287		274		278	
※令和 3 年度は、令和 3 年 1 2 月末時点での実績								

※①については、基金等からの貸付事業であり、各年度の事業費は貸付の上限額を示すので、

「合計」欄は各年度の合計値ではなく、毎年度の貸付上限額と同額を記載しています。

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	7 米沢牛の生産基盤強化に向けた研究会の開催							
関係市町	全市町							
事業内容	米沢牛の生産基盤強化に向けた各種事業の検討、各市町が抱える懸案事項の分析や調査研究、先進事例の調査等を行うため、外部人材を活用した研究会を開催する。 特に、生産者や関係者（受精師、削蹄師、飼料生産者）の高齢化等による後継者不足と技術継承を解決するため、畜産関係者の担い手育成及び経営基盤の安定化を目指した事業を検討する。							
期待される効果	各種事業の実施に向けた課題の解決を図ることで、米沢牛の生産基盤の強化が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	研究会の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業の実施				⇒	⇒	⇒	⇒
	外部人材の活用			⇒	⇒	⇒		
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	2, 717	1, 230	1, 230	1, 230 1, 168	1, 230 1, 231		7, 637 7, 576	
活用を想定する補助制度等	特別交付税（外部人材活用）							
役割分担	・ 米沢市は、関係団体と連携し、外部人材を招へいた研究会を開催する。 ・ 各市町は、各種事業の実現に向けて協議検討を行い、必要な費用を負担する。							
進捗状況	米沢牛WG（2回）を開催した。2回目のWGでは、外部講師も交えて、令和5年12月市場からの米沢牛定義変更（32 か月歳から 33 か月歳へ変更）への対応等、共通課題について意見交換を行った。							
今後の方向性	引き続き、米沢牛WGを開催し、情報共有を図りながら、先進事業等の調査・研修を通して米沢牛の生産基盤強化に向けた取組を展開する。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

ウ 商工業の活性化と雇用促進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の経済の活性化を図るため、商工会議所、商工会等の関係団体と連携し、商工業の活性化及び雇用促進のための取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 産業人材の確保・定着の促進							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の「労働力人口の不足」に対応するため、企業、学校、商工会議所・商工会、ハローワーク及び県などと連携し、若年労働力の安定確保やUIJ ターンの促進等、産業人材の確保及び定着に係る事業を行う。							
期待される効果	人材確保・定着の取組を実施することで、圏域内における労働力人口の確保が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	人材確保事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	95	95	95	95 67	95 67	475 419		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・各市町は、置賜地区雇用対策協議会（構成市町：米沢市、南陽市、高畠町、川西町）、西置賜雇用対策協議会（構成市町：長井市、小国町、白鷹町、飯豊町）を中心として県及び関係団体と連携し、人材確保・定着促進に向けた事業を実施する。							
進捗状況	雇用対策協議会を中心として、若年労働力の安定確保やU I J ターンの促進等、産業人材の確保及び定着に係る事業を実施した。							
今後の方向性	継続して事業を行うとともに、産業人材の確保定着に向けて更なる事業の拡充を図るため、各市町村の負担金のあり方（増額等）も含めて検討していく。							
成果指標	成果指標：新規高等学校卒業求職者の県内事業所への就職率（％）							
	区分	現状値（H29 年度）		目標値（R7 年度）				
	米沢管内	74.6		79.8				
	区分	実績値 （H30 年度）	実績値 （R1 年度）	実績値 （R2 年度）	実績値 （R3 年度）※			
	米沢管内	72.7	71.4	72.6	76.5			
	区分	現状値（H29 年度）		目標値（R5 年度）				
	長井管内	83.5		100				
	区分	実績値 （H30 年度）	実績値 （R1 年度）	実績値 （R2 年度）	実績値 （R3 年度）※			
	長井管内	85.1	83.1	79.3	81.3			
	※令和3年度は、令和3年12月末時点での実績							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

エ 広域観光の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の豊かな自然、歴史、文化等の資源を活かした広域観光の推進を図るため、観光資源の新たな発掘、魅力の向上、圏域内外への情報発信等に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 道の駅米沢を中心とした広域観光の推進					
関係市町	全市町					
事業内容	「道の駅米沢」を中心に、圏域内の道の駅や各観光案内所等が連携し、地域情報の発信や産業振興などの地域連携機能を高めることにより、交流人口の拡大や地域産業力の強化、雇用の創出を図る。また、置賜圏域全体で質の高い旅行を提供できる仕組みづくりや、インバウンド誘致に係る事業等を行う。					
期待される効果	圏域内への交流人口の拡大、地域産業力の強化、雇用の創出などが期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	置賜地域の観光情報の発信	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	おきたま観光コンシェルジュ事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	圏域内の道の駅等との連携	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	データの収集・分析等のマーケティング事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	アプリの活用による道の駅米沢を拠点とする周遊事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	インバウンド誘致に係る事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	外部人材の活用	⇒	⇒	⇒		
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	37,298	36,450	38,100	23,230 23,180	23,230 23,180	158,308 158,208
活用を想定する補助制度等	地方創生推進交付金、 特別交付税（外部人材活用）					
役割分担	・米沢市は「道の駅米沢」を拠点に、各市町の様々な情報の発信、旅行商品の造成、産業振興連携企画、「道の駅米沢」内での連携イベント企画、圏域内の道の駅等が連携したイベント企画などのほか、事務局機能を担う。 ・各市町は、「道の駅米沢」を拠点とした様々な企画への参画、各市町の道の駅等での連携企画の実施、独自事業等の連携などの役割を担い、観光情報提供や観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げ等、受け入れ態勢の強化を行う。					
進捗状況	「道の駅米沢」総合観光案内所の運営を通じた各種情報発信やまちナビカード等の地域内周遊企画の実施等により、広域観光の推進を図ったほか、観光客の動態把握を行うための環境整備（観光アプリのログデータ収集・分析体制の確保）を実施した。また、外部人材を活用し、広域観光の推進に向けた指導・助言を受けた。					
今後の方向性	着地型旅行商品の造成については、新型コロナウイルス感染症の影響等により催行数が少なく、広域観光のツールとなり得ていない状況であるため、今後もより魅力ある商品づくりを推進していく。また、アフターコロナを見据えて、引き続き置賜管内市町並びに県との連携を進め、観光客に対し鮮度の高い情報を発信していく。					

成果指標	成果指標：置賜地域観光入込客数（万人）			
	現状値（H29 年度）	目標値（R5 年度）		
	733	847		
	実績値（H30 年度）	実績値（R1 年度）	実績値（R2 年度）	実績値（R3 年度）※
	899	919	581	未確定
	成果指標：置賜地域外国人旅行者数（人）			
	現状値（H29 年度）	目標値（R5 年度）		
	11,462	60,000		
	実績値（H30 年度）	実績値（R1 年度）	実績値（R2 年度）	実績値（R3 年度）※
	15,686	30,692	7,753	未確定

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 山形おきたま観光協議会による観光プロモーションの実施							
関係市町	全市町							
事業内容	置賜地域の魅力や観光情報を首都圏等圏域外に広く発信するため、山形県と3市5町で構成する山形おきたま観光協議会により、置賜圏域のプロモーションを行う。							
期待される効果	圏域内への交流人口の拡大が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	協議会によるプロモーション事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	3,613	3,340	3,118	2,440 2,509	2,440 2,456		14,951 15,036	
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・各市町は、山形おきたま観光協議会の費用を負担するとともに、事業の実施及び情報提供を行う。 ・山形おきたま観光協議会は、各市町と連携し、置賜圏域のプロモーションを行う。							
進捗状況	広域連携によって、エリア内観光を前面に押し出した誘客活動を行っている。各自治体が経費を負担することで、単独自治体では実施が困難な事業を実施している。令和3年度の冬のあった回廊キャンペーンでは、西置賜を重点プロモーション地区とした。							
今後の方向性	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しながらも、令和4年4月～6月の南東北重点キャンペーン事業はじめ、地域資源を活用したイベント開催などを進めるとともに、メディアを活用した宣伝・広告やSNSを活用した情報発信を行い、誘客を図っていく。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 地域連携 DMO の運営							
関係市町	全市町							
事業内容	観光振興による交流人口の拡大のため、長井市で行っているやまがた<u>長井アルカディア</u>観光局（地域 DMO）の仕組みを広域化し、置賜圏域として取り組む。広報・販売・問い合わせ対応を DMO 窓口で一本化して実施することで、観光客へのサービスの向上に努める。 DMO：組織を構成する市・町・民間事業者・交通事業者などが、地域内で連携した観光客受け入れメニュー（旅行企画など）を作り、発信し販売するもの。							
期待される効果	地域連携で基本戦略を立案する体制の構築や、地域での稼ぐ力のシステム化、自らの企画による地域内消費の拡大などが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	地域連携 DMO の運営			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 （千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	134, 454	103, 188	104, 116	<u>96, 780</u> <u>96, 850</u>	<u>90, 373</u> <u>90, 443</u>	<u>528, 911</u> <u>529, 051</u>		
活用を想定する補助制度等	地方創生推進交付金							
役割分担	・長井市は、南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町と連携し、地域連携DMOの運営を支援する。 ・各市町は、地域連携 DMO 及び関係機関と連携し、情報提供及び各種事業に参画する。							
進捗状況	ウィズコロナへ対応するためのオンラインツアーやアクティビティ実施のほか、アフターコロナに向けた受入体制整備、各市町が連携した観光商品開発を行った。							
今後の方向性	今後も、広域連携によるスケールメリットを活かし、魅力的な旅行商品を開発していく。また、新型コロナウイルス感染症により、インバウンドによる誘客が見込めないため、近隣からの誘客や交流・関係人口を増加させる取組を進めていく。							

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 観光施設の整備
関係市町	長井市
事業内容	まなびと交流がコンセプトの施設として開館した旧長井小学校第一校舎は、国登録有形文化財でもあり、また道の駅川のみなと長井に近接しているため、まちなかの観光スポットのひとつとなっているが、夜 9 時 30 分までの開館時間にもかかわらず正面入口前に照明がなく未舗装であり不便な面があるほか、駐車場がなく集客を阻害する要因となっていることから、施設の魅力向上のため必要な整備を行う。 コンベンションや宿泊、健康増進、オフィス等の機能を持つ複合施設「タス」は、長井商工会議所と（一財）置賜地域地場産業振興センターが主な所有者となっており、圏域における産業振興や観光の拠点としての機能が期待されるが、建設から 30 年以上が経過し、老朽化等によりその機能を十分に

	発揮できていない。令和3年度から大規模改修を実施することとしているが、地域連携 DMO などとの連携強化によって産業振興機能の強化及び施設運営の安定化を図るため、長井商工会議所が所有する一部を長井市が取得し、当該箇所の改修を行う。改修後の活用において、地域連携 DMO などとの連携強化によって産業振興機能の強化及び施設運営の安定化を図るため、長井商工会議所が所有する一部を長井市が取得する。					
期待される効果	魅力ある施設の増加により、圏域内での周遊観光の増加が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	旧長井小学校第一校舎の外構等の整備		⇒			
	旧長井小学校第一校舎の駐車場整備			⇒		
	タスの一部取得			⇒		
	<u>タスの一部改修</u>				⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
		49,700	230,503	<u>200,000</u>	<u>200,000</u>	<u>280,203</u> <u>680,203</u>
活用を想定する補助制度等	地域活性化事業債、山形県市町村振興資金					
役割分担	・長井市は旧長井小学校第一校舎の整備を行う。 ・長井市がタスの一部を取得し、改修する。					
進捗状況	旧長井小学校第一校舎の駐車場整備については、事業自体を見直しし、他の補助金による中央地区周辺整備の一貫として整備することとなった。また、圏域における商工振興及び観光の拠点であるタスについて、長井商工会議所が所有する一部を長井市で取得した。					
今後の方向性	取得したタスの老朽化部分等について、施設の魅力向上のため、一部改修を行う。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤ 環境

ア 環境の保全

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の豊かな自然を守り、環境を維持するため、環境保全及び循環型社会構築に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 環境保全及び循環型社会構築事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の豊かな自然を守り、環境を維持するため、ごみの減量化・再資源化等、循環型社会構築に資する事業を行う。							
期待される効果	圏域内の豊かな自然環境の維持が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	ごみの減量化等に係る事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	廃棄物処理施設等の維持整備			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	7,880	6,439	6,257	8,424 7,509	8,385 8,608	37,385 36,693		
活用を想定する補助制度等	山形県みどり環境交付金							
役割分担	・各市町及び置賜広域行政事務組合は、循環型社会構築に向けた事業を推進する。 ・各市町は、置賜広域行政事務組合が実施する廃棄物処理施設等の維持整備に係る費用を負担する。							
進捗状況	各市町及び置賜広域行政事務組合は、ごみの減量化及び資源化の推進に努めた。ごみ減量化を進めるために、先進地の視察研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止から中止し、代わりにプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について勉強会を実施した。							
今後の方向性	ごみの減量化及び資源化を推進するため、周知・啓発活動を継続的に実施する。また、家庭ごみの排出量が増加傾向にあることから、ごみの減量化の先進的な取組を行っている自治体の視察研修を実施する。							
成果指標	成果指標：ごみ排出量（資源を除く）（H19 年度比 %）							
	現状値（H29 年度）		目標値（R10 年度）					
	△7.7		△22.0					
	実績値（H30 年度）		実績値（R1 年度）		実績値（R2 年度）		見込値（R3 年度）	
	△6.5		△2.4		△7.6		△7.7	
	成果指標：リサイクルプラザにおける資源化率（%）							
	現状値（H29 年度）		目標値（R10 年度）					
	14.2		20.0					
	実績値（H30 年度）		実績値（R1 年度）		実績値（R2 年度）		見込値（R3 年度）	
	13.5		12.6		13.1		13.1	
	成果指標：最終処分量（H19 年度比 %）							
	現状値（H29 年度）		目標値（R10 年度）					
	△7.9		△13.0					
	実績値（H30 年度）		実績値（R1 年度）		実績値（R2 年度）		見込値（R3 年度）	
	△7.1		4.1		△7.0		△6.3	

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 再生可能エネルギーの利用促進							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内における低炭素社会を推進するため、置賜地域低炭素社会形成推進協議会等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進に向けた取組を行うとともに、再生可能エネルギーの地産地消を検討する。 また、飯豊町は、「飯豊町バイオマス活用推進計画」に基づき、畜産由来の廃棄物系バイオマス及び森林資源由来の未利用バイオマスの有効活用をするための事業化プロジェクトを推進する。							
期待される効果	再生可能エネルギーの利用促進によるエネルギー自給率の向上が期待される。 電力の地産地消による産業の創出、雇用、経済の好循環が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	再生可能エネルギーの導入促進			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業化プロジェクトの推進			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	再生可能エネルギーの地産地消の検討				⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	7,188	66,528	6,324	6,324 18,855	6,324 6,704		92,688 105,599	
活用を想定する補助制度等	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金							
役割分担	・各市町は、県と連携し、再生可能エネルギーの導入促進に向けた事業を推進する。 ・長井市、川西町は、再生可能エネルギーの地産地消に係る事業を先導するとともに、各市町と連携し検討を行う。							
進捗状況	各市町では、再生可能エネルギー導入補助事業を実施するとともに、ゼロカーボン実現に向けた取組を進めている。また、置賜地域において電気の地産地消を目指す民間出資の新電力会社「おきたま新電力株式会社」が令和3年8月に設立された。							
今後の方向性	各市町は、引き続き再生可能エネルギー導入促進に向けた事業を推進する。また、圏域内で連携して公共施設への再生可能エネルギー導入の検討を進めるなど、再生可能エネルギーの地産地消に向けた取組を推進する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 森林・里山保全対策の検討							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域の森林・里山を保全するため、森林整備や活用促進、木材供給体制の整備及び木材利用の促進等、森林・里山のあり方について検討する。							
期待される効果	圏域内の豊かな自然環境の維持が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	森林・里山保全対策の検討			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	0	0	0	0	0	0		
活用を想定する補助制度等								

役割分担	・各市町は、森林里山の保全等に係る検討を行う。
進捗状況	各市町では、県主催の会議や研修にて、意見交換・情報交換等を行った。また、東南置賜2市2町の林務担当者が参加する会議を開催し、地域内の課題の確認と課題解決策等の検討を行った。
今後の方向性	今後も、各市町において森林里山の保全等に係る事業を推進するとともに、地域の会議、研修等の機会を活用し、共通課題の共有と解決に向けた検討を進めていく。

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑥ 水道

ア 圏域内水道の広域連携等の検討

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域での必要な水道水の安定供給及び機能強化を図るため、水道事業の広域連携等について検討を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 圏域内水道の広域化の検討					
関係市町	全市町					
事業内容	置賜圏域水道事業広域連携検討会と連携し、置賜地域における水道の広域化の可能性を検討する。 各市町水道事業経営の基盤強化に向け、県と連携のもと、圏域での広域連携の協議・検討を行う。					
期待される効果	圏域内住民の生活に必要な水の安定的な供給が図られる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	広域化の可能性に係る検討			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・各市町は、 <u>実現可能な広域連携について</u> 、県と連携し、 広域化の可能性について 検討を行う。					
進捗状況	山形県食品安全衛生課の主催により、「置賜圏域水道事業広域連携検討会」及び「置賜圏域水道事業広域連携検討会作業部会」が組織されており、これらの枠組みの中で、圏域内水道の広域化に向けた協議・意見交換等を実施してきた。					
今後の方向性	令和4年度には、これまでの協議を反映した「山形県水道広域化推進プラン」が策定・公表される。今後は、共生ビジョンに基づき、システム共同化の拡大など、ソフト面での広域連携拡大に向け検討を進めていく。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑦ 消防・防災

ア 消防・防災体制の強化

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民の安全・安心な生活を守るため、消防・防災体制の強化に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 消防・防災体制の強化							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内における消防・防災体制を強化・維持するため、消防車両や通信設備の更新及び消防水利の整備を適切に行うほか、災害に対応するための備蓄や資機材等の計画的整備を行う。							
期待される効果	消防・防災体制の整備が図られることで圏域内住民の安全・安心な生活に寄与する							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	車両・通信設備等の整備・更新			⇒		⇒		
	備蓄・資機材等の整備			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	351,453	345,067	331,653	264,554 427,333	1,008,640 990,894		2,301,367 2,446,400	
活用を想定する補助制度等	消防防災施設等整備費補助金、消防施設整備事業債、緊急防災・減災事業債、防災対策債、過疎対策事業債							
役割分担	・各市町は、備蓄や資機材の整備を計画的に行うとともに、置賜広域行政事務組合及び西置賜行政組合と連携し、必要な経費を負担する。 ・置賜広域行政事務組合及び西置賜行政組合は、必要な設備更新を行う。							
進捗状況	各市町は、災害備蓄や資機材整備を行った。置賜広域行政事務組合では、消防ポンプ付救助工作車の更新を実施した。令和6年4月から、置賜広域行政事務組合と西置賜行政組合において通信指令業務を共同運用するため、令和3年度には、高機能消防指令センター整備に向けた実施設計業務に着手した。							
今後の方向性	各市町では、今後も災害備蓄や資機材整備等を継続して行う。置賜広域行政事務組合においては、令和5年度以降の消防10か年整備計画を策定するため、資機材等の維持・更新計画と併せ、老朽化した消防本部等の庁舎整備について検討を進める。さらに、新型コロナウイルス感染症防止対策整備事業計画に基づき安全な消防救急業務を行うために、施設設備の整備を推進していく。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 交通

ア 交通ネットワーク等の維持・整備

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の交通ネットワークを強化し、通勤、通学等の交通手段を確保するため、交通事業者その他の関係機関と連携して、鉄道、バス等の公共交通及び道路等の交通インフラの維持・整備に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 圏域内鉄道路線の利用促進					
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内鉄道路線の利便性向上や利用促進を図るため、米坂線整備促進期成同盟会、フラワー長井線利用拡大協議会、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟、置賜地域奥羽新幹線整備・米沢―福島間トンネル整備実現同盟会等の事業を推進する。					
期待される効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	各種事業の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	1,821	1,821	1,821	1,821	1,821	9,105
活用を想定する補助制度等	山形県市町村振興共同事業等助成金					
役割分担	・米沢市、長井市、小国町は、協議会をそれぞれ運営し、各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は、広報等により住民の鉄道路線の利用促進等を図る。					
進捗状況	各種同盟会を中心に、圏域内鉄道路線の利便性向上や利用促進を図るための要望活動やPR活動を行った。山形新幹線については、山形新幹線の福島―米沢間トンネル整備に向け、県とJRでトンネル新設に関する調査費が予算化されることとなった。					
今後の方向性	今後も、圏域全体で協力しながら各種同盟会での要望活動を行い、圏域内鉄道路線の利用促進を推進していく。					
成果指標	圏域内鉄道の利用者数（平均通過人数）					
	区分	現状値（H29年度）	目標値（R5年度）			
	JR 米坂線	384	現状維持			
	フラワー長井線	531	515			
	区分	実績値（H30年度）	実績値（R1年度）	実績値（R2年度）	実績値（R3年度）	
	JR 米坂線	379	373	302	未確定	
	フラワー長井線	526	481	339	未確定	

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備					
関係市町	全市町					
事業内容	フラワー長井線の利用拡大や沿線公共交通との連携による利便性向上を図るため、フラワー長井線利用拡大協議会、山形鉄道公共交通活性化協議会等の事業を推進する。また、安全・安心な地域交通を確保するため、山形鉄道フラワー長井線の鉄道施設の維持管理や必要に応じた整備を実施するほか、老朽化対応の検討・研究を行う。					
期待される効果	圏域住民の利便性向上及び利用拡大が期待される					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	利用拡大事業等の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	鉄道施設の維持管理	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	長井駅舎及び周辺施設の整備	⇒	⇒			
	羽前成田駅前アスファルト舗装工事			⇒		
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	531,906	565,760	82,689	74,257 78,685	74,257 78,689	1,328,869 1,337,729
活用を想定する補助制度等	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業、地域活性化事業債、山形県市町村振興資金					
役割分担	・各市町は、県や協議会等及び山形鉄道㈱と連携を図り、フラワー長井線の利用拡大に向けた取組を実施する。 ・長井市、南陽市、川西町、白鷹町は、県と連携して、フラワー長井線の鉄道施設の維持管理に必要な費用を負担する。 ・長井市は、長井駅舎及び駅前広場等周辺施設の整備を行う。					
進捗状況	各市町では、山形鉄道の維持・継続に向けて、財政支援を行うとともに、利用拡大に向けた ASHI プロジェクト等、利用拡大に向けた P R 活動を行った。また、羽前成田駅前駐車場の舗装工事を実施し、駅利用者の利便性向上を図った。					
今後の方向性	山形鉄道維持に向け、県と協調して財政支援に努める。また、コロナ禍における感染防止対策の徹底を図るとともに、利用回復に向けた対策を検討していく。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 路線バス等の運行、維持					
関係市町	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、飯豊町					
事業内容	圏域内における公共交通を維持するため、民間バス路線やコミュニティバス等の運行に係る費用を負担するとともに、周辺施設等の整備を行う。					
期待される効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	路線バス等の運行	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	市営バスの停留所の移設及び周辺整備		⇒			

事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	267,895	270,919	248,581	268,330 278,662	268,330 250,919	1,324,055 1,316,976
活用を想定する補助制度等	山形県市町村総合交付金、地域公共交通確保維持改善事業費負担金、地域活性化事業債、山形県市町村振興資金、過疎対策事業債					
役割分担	・各市町は、路線バス等の運行に必要な費用を負担するとともに、周辺施設等の整備を行う。					
進捗状況	各市町では、路線バスの運行維持に務めた。米沢市では、路線バスを含む公共交通の利便性向上を図るため、令和3年度中に地域公共交通計画を策定した。長井市では、路線の効率化、利便性向上を図るため、令和3年10月から市営バスの路線改正を実施した。					
今後の方向性	各市町では、今後も路線バスの運行維持に努めるとともに、デマンド交通の利用拡大等についても検討を進める。					
成果指標	成果指標：圏域内バス路線等の利用者数					
	現状値（H29年度）		目標値（R5年度）			
	411,476		現状維持			
	実績値（H30年度）		実績値（R1年度）		実績値（R2年度）	
	405,179		391,049		307,716	
					見込値（R3年度）	
					283,454	

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	4 既存公共交通の利用拡大策の検討					
関係市町	全市町					
事業内容	広域利用の観点により、各市町の既存公共交通の利便性を向上させ、相互利用を促進するため、利用拡大策を検討する。 （例）・各公共交通間のダイヤ接続不便の解消 ・乗継マップ、乗継時刻表の作成 ・共通乗車券（フリーパス）の発行 ・利用対象者の制限撤廃 ・交通事業者間の連携検討（予約者情報の共有など）					
期待される効果	鉄道や路線バスからの2次交通が機能することにより、圏域内の公共交通を利用した移動者の増加が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3
	利用拡大策の検討・実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・米沢市は、既存公共交通の利用拡大のため、各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は、米沢市と連携し、協議及び検討を行う。					
進捗状況	令和3年度中に、交通WGを2回開催し、意見交換及び情報共有を図った。特に、2回目の交通WGでは、公立置賜総合病院への公共交通手段をテーマに議論した。					

今後の方向性	次年度以降も交通ワーキンググループを開催し、既存公共交通の利用拡大に向けた取組を検討していく。
--------	---

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	5 広域的な公共交通網の整備に向けた検討								
関係市町	全市町								
事業内容	圏域における広域的な移動手段の確保と充実を図るため、デマンドタクシーやコミュニティバス等の広域的な運行について協議・検討を行う。 圏域の地域公共交通の課題解決に向けて山形県地域公共交通網形成計画等の策定に参画する。								
期待される効果	広域的な交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の向上が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目				R1	R2	R3	R4	R5
	協議・検討				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計			
	1,302	1,597	1,565	0 4,732	0 4,732	4,464 13,928			
活用を想定する補助制度等									
役割分担	・米沢市は、広域的な公共交通網の整備を図るため、県及び各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は県及び米沢市と連携し、協議及び検討を行う。								
進捗状況	令和3年度は、2回の交通WGにて、各市町の意見交換及び情報共有を行った。白鷹町では、デマンドタクシーの実証実験を行った。また、令和3年6月に山形県地域公共交通計画が策定された。								
今後の方向性	交通ワーキンググループにて、引き続き意見交換及び情報共有を行っていくとともに、各市町内のデマンドタクシーやコミュニティバスの利用促進を図っていく。								

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	6 道路除雪の路線交換							
関係市町	米沢市、長井市、高畠町、川西町、飯豊町							
事業内容	冬期間における道路除雪の効率化を図るため、市町間を結ぶ道路の一部について、路線を交換して除雪を行う。							
期待される効果	単独の市町で除排雪を行うよりも時間、経費の面において効率的であり、地域住民にとって冬期間における交通の安全性の確保が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	除雪の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	2,980	2,088	1,908	1,908	1,908	10,792		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市、長井市、高畠町、川西町、飯豊町は、路線交換した道路の除雪を行う。							

進捗状況	各市町では、相互協定に基づき道路除雪の路線交換を実施した。
今後の方向性	更なる効率性と冬期間の交通安全確保に向け、取組を継続していく。

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	7 圏域内における道路整備の推進							
関係市町	全市町							
事業内容	国道をはじめとする主要道路の整備を推進するため、置賜総合開発協議会を中心として、圏域住民の意識の醸成を図るとともに、国・県への働きかけを行う。							
期待される効果	圏域内の道路網が整備されることで、圏域内外の交流を促進させ、地域経済の活性化をもたらすとともに、圏域内住民の安全・安心の確保に寄与する							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	要望活動の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	道路大会の開催			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	1, 152	1, 152	1, 152	1, 152	1, 152	5, 760		
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・ 米沢市は、当該協議会を運営し、他市町との連絡・調整を行う。 ・ 各市町は、米沢市と連携し、住民の意識の醸成を図るとともに、国・県への働きかけを行う。							
進捗状況	置賜総合開発協議会にて圏域内の道路整備の促進について国・県への要望活動を行った。また、行政・住民・関係団体が一体となり、圏域内の道路整備の促進に向けた機運の醸成を図るため、置賜地域道路整備促進大会を開催した。							
今後の方向性	引き続き、置賜総合開発協議会を中心に、圏域内の道路整備の促進について国・県などの関係機関に要望活動を行っていく。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 移住・定住・交流

ア 移住・定住・交流等の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の人口減少等に関する課題を解決するため、圏域内への移住・定住の促進、圏域内外との交流人口の拡大等に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 広域連携による移住交流促進事業					
関係市町	全市町					
事業内容	圏域外からの移住者の確保及び交流人口の拡大等を図るため、山形県と3市5町で構成する置賜地域移住交流推進協議会と連携し、首都圏における移住相談会（セミナー）や移住体験ツアーなどの取組を推進する。					
期待される効果	圏域外からの移住者の確保及び交流人口の拡大が期待される。					
実施スケジュール		R1	R2	R3	R4	R5
	移住相談会等の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込（千円）	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・米沢市は、置賜地域移住交流推進協議会とともに、置賜全体の魅力の発信に努めるとともに、担当学会議等を主催する。 ・各市町は、担当学会議等を通して、互いの市町における受入体制や現状報告等によりさらに連携を深め、地域全体で移住者受入れの強化と意識の高揚を図る。					
進捗状況	移住先としての置賜地域の魅力を広く情報発信し、移住希望者の増加につなげるために、県と連携し、やまがたハッピーライフカフェをオンラインで実施した。また、置賜地域での暮らしをイメージできる「置賜地域移住ガイドブック」を活用し、移住に関する情報発信を図った。置賜地域に興味関心を持った人が、若者を中心に増えており、セミナー参加から移住につながったケースもある。					
今後の方向性	今後はオンライン開催だけでなく、対面方式とオンライン方式を合わせたハイブリット方式も活用することで、首都圏に限らず全国各地の移住交流希望者へオール置賜で情報提供できる体制づくりを強化していく。					

注）記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 地域おこし協力隊交流事業					
関係市町	全市町					
事業内容	地域おこし協力隊に採用された者の経験や「ヨソモノ」目線での新たな地域資源の発見や観光資源等の活用を図るため、隊員同士の情報交換会を開催する。					
期待される効果	圏域全体の資源の発掘及び活用の推進に加え、地域おこし協力隊の定住につながることを期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	情報交換会の開催	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等						
役割分担	・米沢市は、地域おこし協力隊の交流に向けた連絡調整等を行う。 ・各市町は、米沢市と連携し、交流事業を行う					
進捗状況	令和3年度は、オンラインにて地域おこし協力隊の報告会が開催され、情報交換や活動報告を行った。					
今後の方向性	今後も、地域おこし協力隊を活用し、置賜圏域の魅力を発掘・活用しながら地域活動を積極的に展開してもらう。また、置賜圏域内の隊員同士でそれぞれの活動内容について情報共有し合える交流の場を増やしていく。					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	3 婚活支援事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内における結婚を望む人や興味のある人の成婚を促進するため、出逢いの機会づくりや経済支援に係る事業を行う。 (例) ・結婚を望む人の広域的なデータベースづくり ・マッチングのための魅力ある広域イベントの実施 ・親世代が学ぶ婚活支援セミナーの開催 ・県のネット経由マッチングサービス加入支援（補助金支給）とマッチングサービス加入窓口の開設 ・「結婚してからの生活と夫婦の役割分担」を学ぶセミナーの開催							
期待される効果	人口減少の歯止めの一環としての効果が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	各市町単独事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	広域連携事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	11, 202	11, 271	26, 566	17, 566 34, 633	17, 566 34, 897	84, 171 118, 569		
活用を想定する補助制度等	地域少子化対策重点推進交付金							
役割分担	・各市町は、関係する機関と連携し、婚活活動支援を行う。							
進捗状況	各市町では、出逢いの機会づくりや経済支援に係る事業を実施した。また、置賜地域結婚支援者情報交換会等にて広域的な情報交換を行った。							
今後の方向性	引き続き、圏域内自治体との連携を強化しながら、婚活支援事業を推進していく。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 職員等の交流

ア 職員研修及び交流

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の市町職員等の資質向上及び政策形成能力の向上を図るため、圏域のマネジメント能力の強化に向けた合同研修の実施、外部専門家の招へい等の取組を行う。
-------	--

【外部人材の活用方針】

活用する主な政策分野	福祉、産業振興（米沢牛の振興、広域観光）
活用期間	令和元年度から令和3年度までを予定
関係市町の費用の負担割合及び積算	関係市町の負担割合については、活用内容を踏まえて市町で協議し決定することとし、費用の積算については、その年度の課題などを考慮して専門家と米沢市が事前に協議して決定する。

【具体的取組】

事業名	1 職員研修事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の市町職員等の資質向上を図るため、置賜地域市町職員研修協議会の事業として3市5町の職員が受講している「新規採用職員研修」や「法制執務研修」、各市町の共通する行政課題研修や専門業務研修を共同で行う。							
期待される効果	連携することにより、より幅広い知識と戦略性に富んだ研修を開催することができるようになるほか、市町間の交流が深まり、情報交換の場となることが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	置賜地域市町職員研修協議会事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5		合計	
	461	461	461	461 <u>300</u>	461		2,305 <u>2,144</u>	
活用を想定する補助制度等								
役割分担	・米沢市は、研修に係る検討組織の事務局を担い、事業を実施する。 ・各市町は、合同で研修の企画・運営を行う。							
進捗状況	令和3年度は、置賜地域市町職員研修協議会にて、置賜地域の新規職員研修と主任級職員向けの業務改善研修が実施された。							
今後の方向性	引き続き、置賜3市5町で協議しながら、置賜地域市町職員研修協議会にて圏域内での研修を実施していく。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。

事業名	2 地方創生に向けた人材育成事業							
関係市町	全市町							
事業内容	圏域内の資源や特性を活かし、新たな付加価値を生み出す地方創生の取組や広域連携を進めるため、置賜広域行政事務組合が一般財団法人地域活性化センターと締結した「地方創生に向けた人材育成に関する連携協定」に基づき、圏域内の市町職員等を対象とした人材育成事業を行う。							
期待される効果	地方創生を実現できる地域づくりの中核的人材の育成が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R1	R2	R3	R4	R5
	置賜広域行政事務組合広域連携事業の実施			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計		
	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	28,000		
活用を想定する補助制度等	山形県市町村振興共同事業等助成金							
役割分担	・各市町は、置賜広域行政事務組合とともに広域連携事業を検討するとともに、事業に参加する。 ・置賜広域行政事務組合は、広域連携事業を行う。							
進捗状況	置賜広域行政事務組合では、広域連携事業として、一般財団法人地域活性化センターが主催する外部研修や、東京都港区との交流による人材育成等を行った。各市町は、積極的に広域連携事業へ参加した。							
今後の方向性	置賜広域行政事務組合では、広域連携事業の人材育成事業として、遠隔自治体間連携「おきたまみなと開港プロジェクト」をテーマに、置賜地域と東京都港区の職員が共に学ぶ研修事業等に取り組む。また、首長向けの研修「広域連携懇談会」、外部研修「地方創生セミナー等」の事業を実施する。							

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。